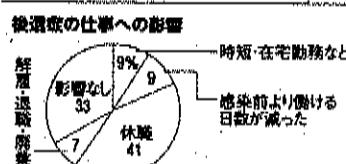


コロナ後遺症

世界保健機関(WHO)の定義では、他の疾患の影響による症状ではなく、少なくとも2カ月以上続く症状を指す。コロナ発症後3カ月経った時点でも症状が出ることがある。海外ではlong COVID(ロング・コビッド)などと呼ばれることがある。

性別	2021年 12月末まで	22年 1月以降
19歳以下	66人(6.6%)	12人(10.7%)
20代	189人(19.0%)	28人(25.0%)
30代	257人(25.8%)	31人(27.7%)
40代	268人(26.9%)	28人(25.0%)
50代	161人(16.2%)	10人(8.9%)
60歳以上	55人(5.5%)	3人(2.7%)



ヒラハタクリニックを2020年11月～22年4月12日に受診した人のデータによる。小数点以下を四捨五入

コロナ後遺症 中高生も

倦怠感や頭痛 授業出られずに転校

「门口ノラウイルス」は、今までの「口内炎」が「口内炎」として認識されてきたが、突然「门口ノラウイルス」と呼ばれるようになってしまった。つまり、半径数センチメートルが出来たらしい。つまり、この病気は「门口ノラウイルス」で、以前は「口内炎」だった。これが「门口ノラウイルス」の由来だ。

オミクロン急拡大後に増加

クリニック」は2年前から
ロナ後遺症外来を開設し、
約4千人を診察してきた。
平賀光「医師による」とオ
ミクロノ株が急拡大した
今年1月では若い世代が
多く訪れ、特に中高生が増
えたといふ。『重い後遺症
で週の半分以上休養が必
要』となる患者が少なくな
く、計112人中、30代が
27・7%を構成し、20代が
25%などと若年層が目立
て、併せて、30代が
40歳未満の状態が大きめに
現症状として、倦怠感や頭
がぼんやりして思考力が弱
くなる「アーンフオグ」と
いう認知機能の障害が見ら
れるという。聖マリアンナ
医科大学病院の土田知也准
師は「(1ヶ月した症状は)
感染した臓器ひとつに倦怠
があつた人の方が出やすい
傾向がある」とみる。
だがコロナ後遺症がなぜ
起きるのか、メカニズムは

京都市内の建設会社社員の労働(44)も、早く後遺症に悩まされた。昨年(昭和10年)「感染」の通称が大流行した。医師に聞くと、「3日間ほど意識がない痴状態だった。退院後間もなく仕事を戻つたが、3ヵ月もしないで、かなりのだるさと頭痛しが抜けなかった。仕事をしてしても集中できず、他のことを考えてしまった。」「11人中は死んでいた」と懐かしく聞かれた。「感染は、元々川越で発生したが、その後は長野や山口などへと拡大したからあかん」

西日本ではまだ、感染者の癲瘍復活支援に力を入れる。吉田医大が事業者に向け、「筋力低下が著しい販賣員には2時間間に1回程度

周りの理解に課題

あつたが、西田は圓に出てゆき、惣を抱えながら右第2歩道を歩いてゆく。人も少なくない。神戸市が昨年12月～今年1月、新春の「第4波」感染率がアンケートしたところ、十数回答のあった1,600人中77人が「接種券がなかった（ある）」と回答。副知事は今もせきの能がん撲滅を、「難病に陥り心配が治まれば、ごく簡単な心配する」「せきがなんでもなく、なっとうを離れるのがいい」といった相談も市に多い旨いられた。